

# 第39回「由布岳」山開き祭 “登山シーズン到来”

～ 由布岳(1,584m)の麓 正面登山道入り口において今シーズンの安全祈願 ～

令和元年5月12日、由布岳観光協議会主催により、第39回「由布岳(1,584m)山開き祭」が、由布岳正面登山道入り口で由布市、別府市、大分県、陸上自衛隊湯布院駐屯地など関係機関・団体の代表者が出席し安全祈願が行われ本格的な登山シーズンが到来しました。

当署からは、坂本大分森林管理署長、永田次長、井上主任森林整備官、蒲池森林整備官、田吹技官、木下技官、6名の職員が出席し登山道の点検パトロールを実施しました。

はじめに、主催者を代表して相馬由布岳観光協議会会長(由布市長)から、「由布岳周辺は、四季折々に新緑や植物の花などを楽しむことができます。県内外多くの方に訪れていただきたい。登山で疲れた体をぜひ温泉で癒してください。」と挨拶がありました。

山開き祭では、坂本大分森林管理署長も護摩木奉納・万歳三唱を行い、登山シーズン期間中における登山者の安全を祈願しました。

その後、陸上自衛隊員による演奏が披露されました。また、自衛隊員の皆さんが手際よく作った豚汁が無料で振る舞われ、熱々の豚汁の味に満足そうな表情を浮かべていました。

この日、実行委員会で準備した、記念品(帽子)の配布には、県内外から訪れた登山者の長蛇の列ができていました。

また、これまで登山道の整備に取り組んでこられた、「“スーパーボランティア”尾畠さん」の姿が式典会場にあり、訪れた登山者と写真撮影をしたり、楽しく話をされていました。

これからの季節、由布岳は本格的な登山シーズンに入りますが、「山頂からの絶景」と「新緑」が登山者の目を楽しませてくれます。



相馬 由布岳観光協議会会長(中央)  
護摩木奉納



坂本 大分森林管理署長(中央)  
護摩木奉納



関係機関・団体によるテープカット



ミヤマキリシマ

## 第39回「由布岳」山開き祭 正面登山道入り口にて



万歳三唱を行う 坂本 大分森林管理署長



万歳三唱を行う 坂本 大分森林管理署長



山開き祭に訪れた“スーパーボランティア”尾島さん



由布岳山頂を目指して一步一步……。